

軽種馬育成調教場の運営・管理 — 2012年度 —

軽種馬育成調教センター 日高事業所次長 早川 聡

平成25年を迎えて

昨年、北海道の気候は異常で、BTCのある浦河では夏はいつまでも暑く、9月15日まで30度を超える気温が続いたかと思えば、12月の寒さは非常に厳しく、7日に降った雪がそのまま根雪となりました。しかしながら、早い根雪は馬場にとっては大歓迎で、雪に覆われるまでの地面の凍結は、例年よりも軽度であったと考えられます。このまま例年通り3月下旬に雪解けになれば、昨年路盤改修工事を完了した1,600m直線砂馬場を含め、屋外の調教コースは非常に良い路盤の状態で開催を迎えられることでしょう。

さて、調教場の年間利用延頭数ですが、平成24年は167,139頭で1日の平均利用頭数は536頭、対前年比は92.8%でした。過去最高の年間利用延頭数であった平成21年の180,886頭から、平成23年の180,083頭までは微減傾向にありましたが、昨年は前年を大きく下回る結果となりました。また、昨年の1日の最高利用頭数は3月20日の773頭が最高で、こちらも前年をわずかに下回っております。一方、年間利用実頭数は2,838頭（対前年比99.0%）であり、周辺利用牧場への馬の集まりそのものは、昨年全体では特段減少傾向にある状況ではありません。しかしながら、2歳馬だけでみると、対前年比は97.7%とやや低い状況になっており、平成25年1月の状況からみても、サラブレットの生産頭数の減少やその根底にある景気の長期低迷の影響が、少なからず影を落としているように思われます。

平成24年の利用状況を詳しくみてみると、利用頭数が例年よりも増加した月は2月だけでした。これは昨年1月から3月までは例年通りの利用頭数であったものが、たまたまうるう年で1日分の頭数が加算されたため、過去最高の利用頭数となったものです。利用頭数の減少した月については6月以降に減少が目立っており、9月と12月の減少が顕著でした。春以降の減少については、中央

競馬の2歳競走の開催時期が早まったために、競馬場や東西トレセンへの移動が早くなったものと考えられ、9月についてはやはり中央競馬の北海道開催が短くなったための変化ではないかと考えられます。12月についてはオートムセールがやや遅かった影響で、1歳馬の騎乗開始が遅れた影響も多少はあるのではないかと考えられます。

次に、平成24年のBTC調教場利用馬の競走成績について報告します。中央競馬における6月以降の2歳馬の成績は、新馬勝ち48勝を含め128勝/607戦：21.1%（平成23年は113勝/573戦：19.7%）でした。2歳戦はレース数も増えておりますが、勝ち鞍だけでなく勝率からも非常に良い成績でありました。また、古馬を含めた中央競馬全体の成績においても、昨年は791勝/3,454戦：22.9%（平成23年は746勝/3,453戦：21.6%）と非常に好成績でした。さらに、昨年の競走成績は勝ち鞍のみならずその内容も優秀で、昨年の平地重賞競走の勝利数は19勝（平成23年は10勝）で、GIレース3勝（同1勝）、GIIレース5勝（同4勝）GIIIレース11勝（同5勝）という内容でした。

一方、公営競馬における古馬も含めた成績は2,552勝（平成23年は2,583勝）とわずかに減少しておりますが、こちらについても2歳馬の成績については97勝（平成23年は88勝）と増加しております。したがって、昨年のBTC調教場利用馬の競走成績については、利用頭数が対前年比93%弱と減少しているにもかかわらず、例年以上に良い成績となっております。今年もBTCの利用馬たちが、さらに活躍してくれることを期待しております。

なお、軽種馬育成調教場における昨年行った主な作業は以下のとおりですが、それ以外にも各砂馬場の砂厚調整や風倒木の撤去、場内の破損箇所の修繕および除雪作業などを必要に応じて行い、施設を安全にご利用いただけるようメンテナンスに努めてまいりました。今後とも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成24年に実施した主な作業

- ① 屋内600mトラック馬場のクッション砂の入れ替えを行いました。
- ② 1,600mトラック馬場のコース外側にクッション砂を補充しました。
- ③ 1,600m直線砂馬場の路盤改修工事を行いました。(JRA 工事)
- ④ 800mトラック砂馬場の全面にクッション砂を補充しました。
- ⑤ 330m準備馬場のウッドチップの全面入れ替えを行いました。
- ⑥ 滞在馬用サンシャインパドックの砂の入れ替えを行いました。
- ⑦ 利用馬の安全と開場時間の確保のため、馬場保全管理作業を休場日に実施しました。

2012年度利用状況 月別1日当たり平均調教頭数及び最高頭数

